



山盛りのご飯が振舞われる「おいしいばち」

植田校区は豊橋市の南部に位置し、北側を梅田川、南側を国道23号、バイパスに挟まれ、国道259号や豊鉄渥美線が走る、交通の大変便利な校区です。昔から農業が盛んで、米・キャベツ・白菜など多くの農作物が栽培されています。校区内の二つの神社の二つ「車神社（植田町字八尻）では、秋の祭礼の日の早朝、「おいしいばち」という行事が行われます。その昔、梅田川の岸辺に高貴な人たちの乗った舟が漂着した時、村人が恐れて

逃げ回ったため、全員が飢え死にしたそうです。「気の毒な事をした」と、亡くなった人たちをまつり、罪滅ぼしと豊作を祈る行事の一つが「おいしいばち」です。「おいしいばち」の当日は、まず冷酒が振舞われ、続いて朝食が出されます。それが終わると「おいしいばち」の儀となり、振舞い役の2人から、大どんぶり位のお椀にでき

るだけ大盛りにしたご飯が差し出されます。お膳の内にこぼした分はご馳走になる人が食べる決まりで、山盛り飯はご馳走になる全員で平らげなくてはなりません。毎年10月の第4土・日曜日の「おいしいばち」の前後には、その他にもいろいろな神事・行事が行われます。ぜひお越しください。

情報提供 植田校区自治会

## 豊校区

### 地域住民の「和」を大切に

豊校区は30年前に隣の岩田校区から分かれ、西石田町・三ノ輪本町・三ノ輪町二区・三ノ輪町三区・春日町の5町自治会で校区を発足しました。校区全体で2600戸、公園も多く静かな住宅地です。豊校区が丸となって取り組んでいることは、犯罪や災害に強いまちづくりです。平成20年12月7日に豊小学校で防犯・防災訓練を行

い、消防本部から来た「グラット号」で地震体験をしました。また日頃から町内の中を歩き、住民の貴重な意見など色々な情報を集め、それを回覧し情報の共有に努めています。そんな校区の中に、平成20年4月、三ノ輪中央公園が完成しました。防災用避難場所にも使用できる新しい公園です。公園整備の前

## あのまち

## このまち

にはアンケートが行われ、住民の意見が取り入れられました。防災の機能以外にも、皆で花を育てたり、スポーツを楽しんだり、いつも子どもたちの遊ぶ声聞こえるそんな場所です。これからも、校区の防犯・防災対策を充実していくとともに、公園の清掃活動、530運動などに参加を呼びかけていき、地域住民の「和」を大切にしていきます。

情報提供 豊校区自治会



三ノ輪中央公園

各校区からいただいた情報を掲載しています

## 植田校区

### 罪滅ぼしと豊作を祈る「おいしいばち」

## 市民病院コーナー

手術中、あなたの命を守るのは麻酔科医です



大きな手術や子どもの手術は、全身麻酔なしでは出来ません。全身麻酔は痛みを取るだけではありません。意識をなくし、自分では動くこともしゃべることも出来ない状態になります。さらにメスが入り、出血もします。麻酔が浅すぎても深すぎても困ります。そこで、麻酔科医が血圧や脈拍を絶えず間なく診て、麻酔の深さを調節し、輸液や輸血を行い、さまざまな危機に対応しています。手術が無事終了して十分覚めるまで、あなたに代わって、あなたの命を守っているのが麻酔科医です。

しかし、全国的にも麻酔科医の不足は深刻です。今後市民病院でも、すべての麻酔を麻酔科医が担当できるように、人員を増やしていきたいと考えています。

(麻酔科部長 寺本友三)



# 豊橋からパナマへ

地域の一員として働いています

平成20年1月から、青年海外協力隊理学療法士隊員として、南米のパナマ共和国で活動しています。主な仕事内容は現地の人々と協力して、パナマの農村部に住む障害を持った子どもたちによりハビリテーションを提供することです。

パナマに来てもう1年が経ちます。言葉の違い、文化・習慣の違いに戸惑い、苦労することもたくさんありましたが、現地の人々の優しさ、明るさに支えられ、1年を過ごすことができました。

先日、障害を持った子どもたちのための椅子を作る機会がありました。日本では、このような特別な椅子でも簡単に手に入れることができますが、パナマではとても難しいのです。このため、パナマの政府機関が材料を提供して、専門職と家族が協力してこのような椅子を作るというプロジェクトが数年前より行われていました。しかし、実際に使えるものはわずかでした。今回、地域の方々と協力して、実際に使えるものを作ろうと計画し、それを実現することができました。お金を多くかけなくても、みんなで協力してできることをやろうという考え方にはとても共感でき、そして、私も地域の一員として参加できたことをとても嬉しく思います。残り1年の任期、今まで以上に現地のの人々と協力して、楽しく働きたいと思っています。



青年海外協力隊  
竹内梢さん(左端)

派遣先 パナマ共和国  
滞在期間 平成20年1月9日～  
平成22年1月9日

## JICAとは

独立行政法人国際協力機構のことで、開発途上国の人材開発や技術提供などを行っています。また、青年海外協力隊やシニア海外ボランティアの派遣なども行っています。

## 市民のひろば

■情報提供 兄貴演し代表  
白井寛人さん(右写真右側)



— お便りいただきました —

## まちのこえ

「お笑いライブで地元豊橋を盛り上げたい」「豊橋お笑いライブ」を見に来てください

私たちのお笑いライブは平成19年4月から始めて3年目を迎えています。豊橋にお笑いを定着させて、子どもからお年寄りまで安心して笑えるライブで地元豊橋を盛り上げていこうと、元吉本興業の漫才師を中心に10組近くの漫才コンビが集まり、月に1回豊橋駅前文化ホールで無料のお笑いライブを開催しています。

メンバーは20〜36歳の学生や社会人が多いのですが、M-1グランプリの名古屋予選を突破するコンビも多数在籍しており、とにかく来る人を楽しませることをモットーにメンバー一丸となって開催しています。

お笑いライブでは新人組が2分、レギュラー組が5分のネタと、漫才やコント、大喜利やゲームコーナーなど盛りだくさんの約1時間30分です。演芸場のある東京、大阪と違い、豊橋では生の漫才に触れる機会が少ないと思うので、ぜひ見に来てください。

■豊橋お笑いライブ 兄貴演し

とき 3月14日(土)午後2時開演  
ところ 豊橋駅前文化ホール(駅前大通二丁目開発ビル10階) 入場料 無料  
※詳しくはホームページ(<http://www.geocities.jp/aniksubushi/main.html>)

## ●このコーナーに、あなたのご意見・情報をお寄せください●

見どころ、イベント、ちょっといい話など身近な話題をお寄せください。※住所・氏名・電話番号を明記してください  
広報広聴課(〒440-8501住所不要 ☎56・5711 ㊚ kohokocho@city.toyohashi.lg.jp)

### 豊橋市内の12月の交通事故(人身)

[ ] は前年同月、( ) は昨年の合計

- 件数 313件 [308件] (3,391件)
- 死者 3人 [2人] (20人)
- 傷者 375人 [370人] (4,099人)

### 豊橋市の人口と世帯

(平成21年1月1日現在)

- 人口 385,478人(前月比48人減)  
[男193,124人/女192,354人]
  - 世帯 148,903世帯(前月比57世帯減)
- ※このうち外国人は20,138人/11,678世帯

### 今月の納税

固定資産税 第4期分  
国民健康保険税 第8期分  
納期限 3月2日(月)

早めにお近くの金融機関(ゆうちょ銀行は口座振替のみ)またはコンビニエンスストア(バーコード印字のある納付書のみ)で納めましょう。納税には手間のかからない口座振替の制度が便利です。  
問合せ:納税課(☎51・2235)